

---

Song by ~愛する君へ~

猫帽子

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

Song by ~愛する君へ~

### 【NZコード】

N9869D

### 【作者名】

猫帽子

### 【あらすじ】

モライモノとオクリモノ。いつも側にいてくれるあの人に貴方は何を感じますか？

## お誕生日おめでとう（誕生日）

どんなに笑われたって  
どんな風に思われたって  
自分を出すことに誇りを持てたのは  
君に出会えたからなんだよ…

『不器用な私の精一杯な愛の歌』

## お誕生日おめでとう

私は、人を苦しめるために自分を苦しめてたんだ。

ただただ悔しくて負けたくない、それなのに自分が嫌いだからって何も考えずに行動してた。

だけど、貴方に会えて、純粋になりたいって思つて、なんか変われた。

それは気持ちだけかもしれない。

でも、でもね？

幸せなんだよ。私。

だから言いたい。

ありがとうって。

そして、これからもよろしくねって。

お誕生日おめでとう。

## 人生といつもの列車（前書き）

半ば数合わせで空白が結構あります… すいません。

## 人生といふ名の列車

ここを終着駅にしたくても本来の目的地はもつと先で  
もつと先を終着駅にしたくても目的地はここなんだよ  
…

出発してしまえば  
元の駅には戻れない

決して途中下車をしてはいけない

人生は始発であり終電だから

時には脱線したり事故起こしたりしてもいい

だから、

だから、君はそのまま走り続ける

一定ではない  
貴方自身の速さで…  
決まっていない  
自分の道を…

人生といふ名の列車

































Take the train

走り出そう  
時という列車に乘ろう  
いつまでも  
どこまでも  
走り出そう…

SONG by 馬場俊英

## Namidairo (前書き)

途中、空白が結構あります……すいません

そつと窓を開けてみる  
吹き込まれた暖かい風が季節の変わりを知らせた

n a m i d a i r o

私は分かっていた

だから、世の中のモノ全てに不信になっていたのかも知れない…  
あの日の声は私の想いとは融合しなかった  
けど、私はその声に安らぎを感じていた  
なんで全てに不信になっていたのに夢だけは信じていられたのだろう…

私は素直になれなかつた  
だから、強がつていた

あの日の優しさは私の行動を知らなかつた  
だから、その優しさは私に苦しみや裏切りを与えた  
裏切つたものを信じるなんて図々しいんだよ…  
涙は声と融合した

私、こんなに信じてたんだ  
強がるのは弱いからだよ  
今になつて気付いた訳じやないのに…

あの日の瞳は今の私をどんな風に見つめますか？













なみだいろ  
声が聞こえない夜は  
困らせてしまうほど  
わがままになりたい  
大丈夫！  
そう言つてみたけど、  
そんなはずないでしょ…

SONG by 'YUJI

## My Generation (前書き)

途中、数合わせのために、空白が沢山あります…すいません

# My Generation

過去なんかに

後ろ指指す奴なんかに

振り向いたりしない

惑わされたりしない

誰が何と言おうと

私は  
私なんだから

この生き方を全うしてみせる

この夢を掴んでみせる

今、私は飛び立つ

My Generation  
16才の春

























## MY DREAM

言葉に出来ないだけなのに

誰でもいいからと

傷付けて

泣いた夜

分かつて欲しいなんて思わないけど

描いた夢を信じきれない弱さに

ただ支配されてた

Sixteen My dream

Song by .YUI

春（前書き）

途中、空欄が結構あります…すいません

私、大きくなつたんだな…

夕方、青く冷めた空を見上げて、ふと思つた

桜は散つたのに

春らしくない冷たい風が

私をすり抜けた

ひゅるりひゅるつ…

私はこの季節が好き

今まであつた

悲しいことや

嬉しいこと

全てに区切りを付けられるから…

まだまだ

そんなに強くないけど

私の道を教えてくれるから

後悔したって

いい思い出になるから

春が好き





















そういう夢ならも一度ありたい  
春が来る度、大きくなれる  
そういう気持ちを忘れずにいたら  
強くなれるよつの気がして

SONG by Hysteric

Blue

銀河鉄道999（前書き）

途中、空欄が結構あります…すいません

あの現実は全て夢なんだよ

そう

君の田が物語る

過去に隠されたままじゃ 素直な自分を表せないんだ

そう

私は気付く

The Galaxy Express 999

に乗つて

君は遙か彼方に

熱いときめきと

冷たい切なさを残して

旅立つた。

決して戻らない恋だけど

決して戻したい訳ではない

ただ、

君の言いたかったことを

未来のドラマへ繋げたいんだ

























さあ行くんだ  
その顔をあげて  
新しい風に  
心を洗おう  
古い夢は置いていくがいい  
再び始まるドラマのために

SONG by ポダイゴ

## ナキムシのうた（前書き）

途中、空欄が結構あります……すいません

## ナキムシのうた

分かんないなら

失敗すりやいいじやん

成功したら

それでおしまい。

そりや達成感とかあるかもしけないけど、

そのことに対する期待は

何一つ

出来なくなってしまう。

だから、

失敗を

そんな恥ずかしがることないよ。

だけど、

泣きたいときは

泣けばいいよ。

それで、また君は強くなる。

ナキムシのうた





















元気が出たなら歌いましょう

Sh a l a l a l a l a l a . . .

大好きな歌を歌えば

ほら君の顔に笑顔が

一つ咲いた

Sh a l a l a l a l a l a . . .

さあ、気が済むまで

明日の君に届くまで

SONG by 風味堂

## スター（前書き）

途中、空欄が沢山あります…すいません

帰り道

前より心が優しさを持つたのは

あの日

君が傍にいたからだよ

偶然、君に出逢い

必然的に君を愛した

この出逢いは『運命』なんかじゃないけど

照れたり

恥じたり

切ない目をしたりする

君のそのままが

私は大好きだった

君に出逢えた偶然が

私に真っ直ぐな道を歩くためのものだとしても…

理由なんてなんだってよくなるくらい

私は君が大好きだった

私は小さな小さな星になつて

君を照らすから

君は自分を嫌いになつたりとか悲しいことひやめて

自由に

笑顔のままでいてね

私は君の手の温かさを知つてゐるから

私は君の強さを知つてゐるから





















あたしが射す光のもとへと  
強く手を伸ばせるのならば  
このままどうか  
消えない様にと  
願いを胸に刻んで

SONG by aiko

途中、空欄が沢山あります……すいません

未来に行くのも  
過去に戻るのも怖くて  
だから、私は  
今にすがりついていたくつて…  
けど、今を生きるのが  
本当に辛いとき  
私はどうすればいい?  
そんな小さな声を包んだ  
君の涙が  
もう一度  
新しくなれるチャンスを教えたんだ  
過去の私を攻めた苦しみに  
痛みを感じても

新しい私になるための痛みなら

心地よく感じたんだ

だから

私は

もう一度

苦しかった

過去の痛みと直して

明日の道を歩むに至った

























明日もきっと輝いている  
幼き日々に戻らなくていい  
I'm a baby  
泣きたくもなる  
手に入れるための痛みなら

SONG by YUI

途中、空欄があります……すいません

無理して自分作って

無理して笑つて

無理して空回りしてない?

私は無理しない君のそのままが

好きだなあ

笑つたり拗ねたり黙り込んだり…

時たま、ムカつくけど

いつも、癒されてるんだよ

辛くて道に迷つて困つて…

けど、君は

どんなときも

今も昔もずっと変わらずに

笑つて、ここにいたんだよね

違つ優しさにひかれたときも

恋とか夢とかに真剣になつて友達なんかつてそっぽ向いてたときも

ずっとずっと…

だから、今度は私の番

君が教えてくれてたことを私が教える…

どんなことがあっても、気にするな！

ただ、叶うことだけを信じて？

幸福論

私は君がいるだけで幸せに気付けたんだから。













時の流れと空の色に  
何も期待はしないよ、ついに  
素顔で泣いて、笑う君の  
そのままを愛してる故に  
私は君のメロディや  
その哲学や言葉全てを  
守り通します  
君が其処に生きているといつも真実だけで  
幸福なのです

SONG by 植名林檎

## スーパースター（前書き）

途中、空欄が沢山あります…すいません

## スーパースター

逃げて

を迷つて

闇に墜ちて

涙を流す

そんな子供のようにか弱い今の私は

孤独と期待の

接点にある貴方の意思とは通わないのかも知れない

人と比べて喜んで…

人と比べて疎ましくなつた…

自分に勝とうとしなかつた私の

眼の前に立つ君の姿は

仮面を外したスーパースターだった

今からでもこんなに強く変われるのかな?

寂しさに惑わされることなく、自分を見つめれるのかな？

世間に染まらない心の空を

少しでも鮮やかに

描けるよ！」

そう願つたのは

君と出会えたから

私の憧れの人　君というスーパースター





















私は  
あなたの強く光る眼  
思い出すけれど  
もしも会えたとして  
喜べないよ  
か弱い今日の私では  
未だ厭だ…

SONG by 東京事変

## ギリギリHERO（前書き）

途中、結構、空欄があります…すいません

僕は君を命懸けで守る  
誰が止めたって  
誰も止められないんだ  
僕は君の前では  
照れて上手く好きな気持ち表せないけど  
僕は君のギリギリHEROだから  
いっぱい泣いちゃうけど  
いっぱい失敗するし  
僕のこの強がりな気持ちは  
ホンモノだから  
嫌われたって守るよ  
困らせたら謝るよ  
使命はここだつて分かったから























色褪せない情熱抱いて  
Going on  
泣きべそかいて  
背伸びしたつて守るよ  
僕は君のギリギリHERO  
変えてみせる昨日より  
マシなStory  
派手なコスチューム  
身に纏わなくたつて  
僕は君のギリギリHEROをあ

SONG by .m i h i m a r u G T

途中、空白がだら～っとあります。すいません。

卒業式の帰り

私は学校に一人残つて、写真を取つた

テーマは『あなたのいた学校』

あなたの隣に座つた食堂

あなたのいた教室

あなたを待つていた階段

あなたと初めて待ち合わせをした図書室

あなたに出来えた玄関

27枚しかない使い捨てカメラに27枚以上の想いを閉じ込めていく

あなたが死んだのにみんなはあなたを忘れたように別れを惜しむ

私は見えない目であなたをしつかり見ていた

あなた、卒業おめでとう…

最後に収めた写真はあなたに出来えた日のような雨上がりの木漏れ  
日だった。





















ただ君を愛してる  
ただ君を愛してる  
ただ君を愛してる  
ただ君を愛してる  
ただそれだけで良かつたのに…

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9869d/>

---

Song by ~愛する君へ~

2010年10月22日14時03分発行